

令和6年度 第3回磐田市男女共同参画審議会 摘録

日 時	令和7年2月3日(月) 午前9時30分～午後11時30分
場 所	磐田市役所 本庁舎4階 大会議室
出席委員	委員8名 鈴木 まり子、永野 涼子、伊藤 八重子、久永 公子、夏目 裕子 松野 裕貴、山中 洸武、村上 ナオキ ※敬称略
事務局	ダイバーシティ推進室長、担当2名

[会議概要摘録]

1 開会

2 挨拶

3 報告事項

(1) 市民活動センター主催磐田市男女共同参画講座について

資料 1

(2) 令和6年度 男女共同参画推進授業の実績について

資料 2

(3) 「女性の暴力をなくす運動期間」における啓発活動

資料 3

(意見)

・パープルライトアップ期間中に通りかかった人が、パープルライトアップの意味合いを知ることができたり、相談事業などの具体的な取組みに繋げることができると良い。

(4) 審議会の女性の積極的登用の通知について

資料 4

(意見)

・女性が積極的に参加する審議会の様子等を併せて発信するとイメージができる。

・あて職では、会長の仕事量が多く負担が大きいため推薦する団体側で仕事を分散できるように、会長でない方からも選出できるようにすると負担も分散され女性の割合も増やすことができるのではないか。

(5) 交流センターと連携した男女共同参画講演会について

資料 5

(意見)

・豊島区の事例を含め、学びの多いワークショップであり、こういったワークショップを開催したことは、非常に良いことだと感じる。

4 協議事項

(1) 男女共同参画の啓発と合わせた次年度のダイバーシティ推進について(案)

資料 6

(意見)

- ・ダイバーシティ/多様性に関する正しい理解を促進する中で、周知の際に国や県、市町の発信する HP の URL を貼る等、情報の根拠を明確にすること。
- ・当事者とダイバーシティを考える機会があると良い。
- ・職場環境を整備するにあたり、市内の中小企業のみならず、大企業も含めて、企業に対してアプローチをすることで、職場から啓発していくのはどうか。
- ・講座やワークショップを開催するうえで、明確な目的やメリットを示してあげることが大切だと思う。
- ・子ども向けには、今までの教材のみならず、わかりやすい動画媒体による情報発信もできると良い。飽きさせない工夫が必要ではないか。
- ・町内会など、単位を小さくして講演会等の呼びかけをしていくのはどうか。

5 連絡事項

6 閉会